



2023年8月18日

各位

会社名	株式会社インテイメート・マージャー
代表者名	代表取締役 築島 亮次 (コード番号：7072 東証グロース)
問合せ先	管理本部長 星野 貴彦 (電話番号：03-5114-6051)

2023年9月期 第3四半期決算 質疑応答集

この質疑応答集は、2023年8月14日（月）に公表した2023年9月期第3四半期決算発表以降において、株主、投資家の皆さまからのお問い合わせや、アナリスト、機関投資家の方々との1on1ミーティングにていただいた主なご質問をまとめたものです。ご理解いただきやすいよう、一部内容の加筆・修正を行っております。

Q1：アカウント数、単価ともに堅調な伸びに見受けられます。この要因について教えてください。

A：Performance DMPにおいてはマーケティングの成果が表れ、アカウント数は増加傾向が回復した結果、前年同期比で15%増加し、さらに単価も前年同期比で5%上昇しております。

一方、売上構成の半分以上を占めるマーケティング支援においては、インターネット広告市場における一部の企業の不透明感の影響を受けて、売上高は前年同期比で横ばいとなっております。

Q2：通期業績予想に対する進捗状況について教えてください。

A：第3四半期時点での進捗率は、売上高は72.4%、各段階利益は約90%となっております。

インターネット広告市場における一部の企業では不透明感がありますが、通期業績予想の達成を目指すとともに、来期以降の事業拡大も見据えて事業推進を行って参ります。

Q3：「ChatGPT」の導入と業務効率化の状況について教えてください。

A：当社では従来の「自社」と「アウトソーシング」の分業という考え方に「AI」との分業という選択肢を与えることで、従業員がより生産性の高い環境で働けるよう支援し、取引先企業の皆さまに向けて付加価値を高めたサービスを提供して参ります。

当期においては「ChatGPT」を活用して、3rd Party Dataを活用したターゲット分析やターゲットに合わせ

た広告文の作成ができる業務ツールを開発したところ、従業員のナレッジを高めながら時間的リソースを削減することができました。

「ChatGPT」の導入に伴い生産性の向上が見込まれることから人的資源の配分を見直した結果、採用ペースを当初の計画と比較して抑制しており、従業員数は第3四半期末時点では58名（前期末比5名増加）となっております。

■ インティメート・マージャーについて (<https://corp.intimatemerger.com/>)

「世の中のさまざまな領域における、データを使った効率化」をミッションに掲げ、国内 DMP 市場導入シェア No.1(※1)のデータ活用プラットフォーム「IM-DMP」を保有するデータマーケティングカンパニー。約4.7億のオーディエンスデータ(※2)と高度な分析技術を掛け合わせたデータ活用プラットフォーム「IM-DMP」の提供・構築支援、データ活用に関するコンサルティングサービスを提供しています。また、プライバシー保護に関する取り組みとして、一般社団法人 日本経済団体連合会が掲げる「個人データ適正利用経営宣言」に賛同しています。今後は Sales Tech や Fin Tech、Privacy Tech などの X-Tech 領域に事業を展開し「データビジネスのプロデューサー集団」を目指します。

※1 出典元：「DataSign Web サービス調査レポート 2021.2」

※2 一定期間内に計測された重複のないブラウザの数を示します。多くの場合、ブラウザの識別には Cookie が利用され、一定期間内に計測された重複のない Cookie の数のことを示します。

本リリースに関する報道関係者のお問い合わせ
株式会社インティメート・マージャー IR 担当
Email: ir@intimatemerger.com